

1. 概況

当月の通信機器[国内]の受注・出荷は746億円(前年同月比12.3%増)と5か月ぶりに増加。
有線端末機器は、VoIP-GW(同比42.3%増)、インターホンとその他合計(同比10.3%増)、ファクシミリ(同比2.2%増)が同比を上回ったが、電話機(同比2.6%減)、事業所用コードレスホン(同比9.9%減)が同比を下回ったため、全体では190億円(同比1.1%減)と減少した。
移動体端末機器は、携帯電話の高価格帯端末の出荷増により、全体では175億円(同比4.3%増)と増加した。携帯電話平均単価は前年比、前月比ともに増加した。
有線ネットワーク関連機器は、構内用電子交換機(同比6.0%増)、ボタン電話装置(同比30.9%増)、PON/MC(同比57.4%増)、その他の伝送装置(同比28.1%増)が同比を上回ったが、官公庁向け需要が大幅減となったデジタル伝送装置(同比52.2%減)が同比を下回ったため、全体では115億円(同比15.2%減)と減少した。
無線ネットワーク関連機器は、固定通信装置(同比17.3%増)の防災・減災需要などが堅調なこと、基地局通信装置(同比419.2%増)での地方自治体からの消防救急無線再整備工事の特需により同比を大幅に上回り、全体では227億円(同比62.2%増)と大幅に増加した。
その他ネットワーク関連機器は、ネットワーク強靱化に伴うルータ(同比18.4%増)の拡張や、データセンター投資が旺盛なLANスイッチ・ハブ(同比73.7%増)が同比を上回ったため、全体では39億円(同比41.9%増)と大幅に増加した。
通信機器用部品は、1億円(同比60.4%減)と減少した。

2. 受注・出荷実績

(金額単位:百万円)

機種別	月・期別	10月	前年同月 比増減率(%)	4月～10月 累計	前年同期 比増減率(%)	1月～10月 累計	前年同期 比増減率(%)
通 信 機 器		74,597	12.3	458,511	-2.3	687,791	-7.0
端 末 機 器		36,438	1.4	250,775	-6.2	377,362	-2.6
有 線 端 末 機 器		18,961	-1.1	148,178	0.7	225,119	1.4
移 動 体 端 末 機 器		17,477	4.3	102,597	-14.7	152,243	-7.9
ネ ッ ト ワ ー ク 関 連 機 器		38,064	25.7	206,797	3.0	308,959	-11.3
有 線 ネ ッ ト ワ ー ク 関 連 機 器		11,511	-15.2	82,978	-27.2	125,759	-33.2
無 線 ネ ッ ト ワ ー ク 関 連 機 器		22,666	62.2	96,912	53.2	141,570	12.9
そ の 他 ネ ッ ト ワ ー ク 関 連 機 器 (ルーター・LANスイッチ等)		3,887	41.9	26,907	14.7	41,630	19.6
通 信 機 器 用 部 品		95	-60.4	939	-10.5	1,470	-60.7

(注) 1. CIAJ自主統計に基づく

2. 移動体端末には市民用トランシーバー、アマチュア用通信装置を含まず

3. ボタン電話装置は、端末機器に含めず、ネットワーク関連機器に含めた(2018年4月から)

3. 受注・出荷推移

